【言語表現学科　国語基礎学力型】

〔一〕

問１	1	2	3	4
	明快	だっしゅ	才覚	占
	5	6	7	8
	がかい	偏在	双方	隔
問２	4			
問３	2			
問４	自壊作用			
問５	5			
問６	3			
問７	それは時代			
問８	2			

〔二〕

<table>
<tr><td rowspan="2">問 1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>街頭</td><td>きんこう</td><td>文献</td><td>深層</td></tr>
<tr><td>問 2</td><td>日本語</td><td colspan="4" rowspan="6"></td></tr>
<tr><td>問 3</td><td>この語～せん。</td></tr>
<tr><td>問 4</td><td>5</td></tr>
<tr><td>問 5</td><td>3</td></tr>
<tr><td>問 6</td><td>それは、寿</td></tr>
<tr><td>問 7</td><td>5</td></tr>
<tr><td>問 8</td><td colspan="4">それぞれの社会において定着し、人々の間で日常的に使用されていることばや呼称は、特定の固定的なイメージを有している。それゆえ、何らかの社会的ないし政治的理由によって公式に言い換えられた後も、最初のイメージを拭い去ることは決して容易ではない。そうした最初のイメージの影響が強く現れる場面として、学生の就職活動、あるいは社会人の転職活動などにおける、職業選択の場面が考えられる。
たとえば、病院において、医師の診療の補助や患者の療養上の世話を行う「看護師」は、職業が特定の性別に結び付けられることを問題視する、昨今のジェンダー論をめぐる一定の議論が踏まえられて、現在は男女双方の職員を指す呼称として公式に用いられている。しかし、それ以前は「看護婦」という呼称の方が一般に浸透しており、女性が就く職業であるというイメージが強かった。また、男女双方の看護師を意味する英単語の「ナース」に関しても、日本では女性の職員をイメージさせることばとして受容されてきた。このような背景が現在でも尾を引き、看護師と言えば女性の職業であると考えられてしまい、職業選択の際に若干の抵抗を覚えてしまう男性も少なくないと考える。
このように、ジェンダー問題などの社会的理由によって呼称が言い換えられるケースは様々な業界に見られるが、呼称を変更しても旧来の支配的なイメージを変化させるのは簡単ではなく、時代のニーズに合わせて考え方を変化させていくには、長い時間をかけて新たなイメージを定着させていくことが必要となってしまう。
一般化されたことばには人々の思考を支配する力がある。そのため、ことばを言い換えても、そこに内在する支配的イメージを変化させることは簡単ではないのである。（719 字）</td></tr>
</table>